

連携事業（学福・学商）による生徒の資質向上

1. 目的
 - ①学福連携事業として、製造許可や製造所を持たない福祉事業者と連携し、業務委託の形をとりながら食品製造を行い、製造技術を身につけるとともに、地域連携を図る。
 - ②学商連携事業として那珂市商工会等の団体と新しい商品開発と、自分たちの技術を伝承する技術を身につける。
2. 日時
 - ①1月28日（水）ブルーベリージャム製造 実施
 - ②12月1日（月）ローゼルリンゴジャム製造 実施
3. 参加生徒
 - ①食品化学科2年生
 - ②食品化学科1年生
4. 生徒感想
 - ①外部から委託されて製造するジャムは責任感を感じて緊張しました。障害を持った方々が栽培、収穫を行ったブルーベリーを私たちが加工して、多くのお客さんの手に届いていくと考えると、社会の一員として自分たちの製造技術が貢献できていると実感し、とても嬉しくなりました。
 - ②那珂市商工会の方々とローゼルリンゴジャムを作り、いつもは先生に教えてもらっている立場ですが、今回は自分たちが教える立場となって一緒にジャムづくりをしました。自分の持つ知識や技術を相手にも理解できるように説明する難しさを痛感しました。去年の商品よりも水分量を増して糖度は維持したいと要望があり、途中で一緒に味見をしながら、依頼者側の理想のジャムに近づけていく行程がとても勉強になりました。

